

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	言語文化学コース (中国語学中国文学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol>	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学的研究にとって必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>
---	--

**専門分野のカリキュラム**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学 年	前 期	後 期					
11034	中国語学概説A	中国語スクールグラマーの知識を基礎とし、中国語を分析する基礎知識及び基礎技能を習得する。	2	*			◎	○		
11035	中国語学概説B	中国語音声に関する知識を習得しながら、比較対照の観点から日本語や英語の音声との差異を考察し、音声分析の方法を学ぶ。	2		*		○	◎		
11036	中国文学概説	中国近現代文学の各ジャンルについて学び、原典講読を通じて作品分析の方法や理論を習得する。	2	*		○				◎
42001	中国の文化と社会	(1)文化・社会論および歴史に関する中国語表現を学習する。(2)中国文化・社会論の講義に触れ、自国の文化や社会への理解を深める。	2		*		◎	○		
42002	漢文学概説	中国古典の各ジャンルと古代文化の特質を理解する。	1		*	○	◎			
42003	漢文学史A	(1)中国古典・中世の文語体文学の歴史について学ぶ。(2)中国古典の読解を通じ外国の文化、思想について理解を深める。	2	*		○	◎			
42004	漢文学史B	(1)中国近世の文語体文学の歴史について学ぶ。(2)中国古典の読解を通じ外国の文化、思想について理解を深める。	2	*		○	◎			
42005	中国文学史A	(1)中国古典白話文学に親しみ、作品の背景にある通俗文化について理解を深める。(2)作品研究に必要な分析方法と理論を学ぶ。	2		*	◎				○
42006	中国文学史B	(1)中国近現代文学に親しみ、作品の背景にある歴史的な脈絡を理解する。(2)作品研究に必要な分析方法と理論を学ぶ。	2	*		◎				○
42007	中国語史	中国の伝統的学問分野である「小学」に関する基礎的な知識を身に付け、古典中国語を読解するための基礎とする。	2		*		◎	○		
42009	中国言語文化研究A	中国の言語文化に関する多様な研究を理解できる。	2		*	◎	○			
42010	中国言語文化研究B	中国の言語文化に関する多様な研究を理解できる。	2	*		◎	○			
42011	中国言語文化研究C	中国の言語文化に関する多様な研究を理解できる。	2	*		◎	○			
42012	中国語学研究A	中国語の文法課題の種類と、現在定説化している解釈および概念用語を理解する。	2		*		◎			○
42013	中国語学研究B	中国語の基礎語彙について、歴史的変化を文献資料によって跡付け、中国語史に関する文献的アプローチの方法を学ぶ。	2	*			○	◎		
42014	中国文学研究A	芸能文献の読解力を養い、中国語資料の収集分析能力を身に付ける。	2	*			○			◎

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	言語文化学コース (中国語学中国文学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下の学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol>	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下の言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学的研究にとつて必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を通じて、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>
---	--

**専門分野のカリキュラム**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期					
42015	中国文学研究B	原典の精読や映像鑑賞を通して専門のテーマに関する高度なコミュニケーション能力を身につける。	2		*		◎			○
42016	現代中国語文法研究	中国語を言語学的視点から理解できる能力を養う。日本語や英語と比較することにより、言語類型論的視野を養い、分析への興味をもてる。	3	*			◎			○
42018	中国語コミュニケーションA	目安として、中国語検定3級(語彙数3000前後)又はHSK5級程度をクリアできる能力を身につける。	2	*			◎			
42019	中国語コミュニケーションB	目安として、中国語検定3級(語彙数3000前後)又はHSK5級程度をクリアできる能力を身につける。	2	*			◎			
42020	中国語コミュニケーションC	中国語の基礎的文法事項をマスターし、中国語検定3級(語彙数3000前後)又はHSK5級程度をクリアできる読解と発音の能力を身につける。	2		*		◎			
42021	中国語コミュニケーションD	目安として、中国語検定3級(語彙数3000前後)又はHSK5級程度をクリアできる能力を身につける。授業中、積極的に中国語で発言する。	2		*		◎			
42022	中国語表現法A	(1)使用できる中国語の語彙数を増加させる。2年の時に用いた教材を徹底的に復習する。(2)読解内容を基礎文型やイデオロムを習得する。	3	*			◎			
42023	中国語表現法B	(1)議論に必要な中国語表現のパターン、模範的文例を多く習得する。(2)自分の問題意識を正確に伝える表現力を訓練する。	3		*		◎			
42024	現代中国時事文A	多様な中国関係の報道に対して、自己の見解を確立していく。	3	*			○		◎	
42025	現代中国時事文B	現代中国時事文Aや表現法Aで履修した語彙・文型を駆使して議論できること。	3		*		○		◎	
42026	中国語文献読解基礎A	中国語の文体差と四字成句の由来、現在の日本での用法のずれを理解する。	1		*		○			◎
42027	中国語文献読解基礎B	現代作家又は当代作家の作品又はアンソロジーの講読を通じて、正確な発音と読解力の向上を目指す。	2	*			○			◎
42028	中国語文献読解基礎C	1)中国の民間文学について基礎的な知識を身につける。2)現代中国語で書かれた民間文学の作品を読解する力を養う。	2		*		○			◎
42029	中国語学演習A	漢語方言に関するテキストを演習形式で講読し、方言分類と方言地理学の方法を学ぶ。	3	*				◎		
42030	中国語学演習B	単語別の意味記述の方法について、辞書の比較作業を通して問題点を見出す。また、その問題点を解決してレポートにする。	3		*		◎	○		
42031	中国文学演習A	中国小説の読解力を養い、小説を分析する方法論や理論を習得する。	3	*				◎		○

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	言語文化学コース (中国語学中国文学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol>	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下の言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学的研究にとつて必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>
---	--

専門分野のカリキュラム

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期						
42032	中国文学演習B	現代中国事情を理解し、近現代文学の作品を読み解く能力を習得する。	3		*						◎
42033	中国語学テーマ別演習A	対照研究に必要な概念用語と定義を理解し、レポート作成に活用できるようにする。卒論でとりあげる具体的言語資料に応じた理論構成ができるようにする。	3	*				◎			○
42034	中国語学テーマ別演習B	方言地理学の一連の作業と考察を通じて、複雑な事象から問題を発見し、解決していく能力を身につける。卒論につながる実践的研究の手がかりとする。	3		*			○	◎		
42035	中国文学テーマ別演習A	(1)中国古典詩文の原典講読を通じて、文言文の読解力を向上させる。(2)先行研究の成果を把握し、作品研究の方法を学ぶ。	3		*		◎				○
42036	中国文学テーマ別演習B	(1)中国古典詩文の原典講読を通じて、文言文の読解力を向上させる。(2)先行研究の成果を把握し、作品を分析する方法論を習得する。	3		*			○			◎
31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*						○	◎
31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようにする。	4		*					○	◎
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文学の学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。	4		*		◎				○
11001	人文学序説1	・人文諸学の専門分野で学ぶ内容の概要を把握する。 ・人文学類における学問の全体をイメージできるようにする。	1	*			◎		○		
11002	人文学序説2A	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・ラボラトリ(実験)、テキスト(文献読解)、サーベイ(調査と分析)、フィールド(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*						
11003	人文学序説2B	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・人文学の基礎的素養としての歴史学について、歴史資料の捉え方、研究の課題、研究方法の基礎的な知識を理解する。	1		*						
11004	人文学序説2C	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・人文学の基礎的素養としての言語学・文学について、基本的な視座や研究方法についての基礎的な知識を理解する。	1		*			○		◎	
11005	学類共通英語1	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	2		*				○		◎

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	言語文化学コース (中国語学中国文学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)								
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol>		<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>								
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)								
<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>		<p>コトバと文学の科学的研究にとって必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p>	<p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p>	<p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p>	<p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p>	<p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p>	<p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>			
専門分野のカリキュラム										
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期					
11006	学類共通英語2	<p>・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・「学類共通英語1」より高いレベルで、英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。</p>	3	*				○		◎